

# 明神さま

宇都宮二荒山神社

奉祝 天皇陛下御即位

# 命

# 和





# 特集

## 大嘗祭について

國學院大學准教授  
 太平山神社禰宜

小林 宣彦

●今年の五月に新帝が即位し、新しい御代を迎えます。この御代替りにおける儀式として重要とされるのは、「踐祚」・「改元」・「劍璽等承継の儀」・「即位式」・「大嘗祭」などです。

●劍璽等承継の儀とは、即位後すぐに、三種の神器が新帝に継承される儀式です。三種の神器とは、「八尺瓊曲玉」・「八咫鏡」・「草薙劍」を指します。皇居吹上御所内の「劍璽の間」には、草薙劍の形代と八尺瓊曲玉が奉安されており、これらと、天皇の印章である「御璽」と国の印章である「国璽」が、劍璽等承継の儀で新帝に受け継がれます。八咫鏡の形代は、宮中三殿の一つである賢所に奉安されています。この儀式は、もともとは「劍璽渡御の儀」とい

【御即位図】(國學院大學博物館蔵)



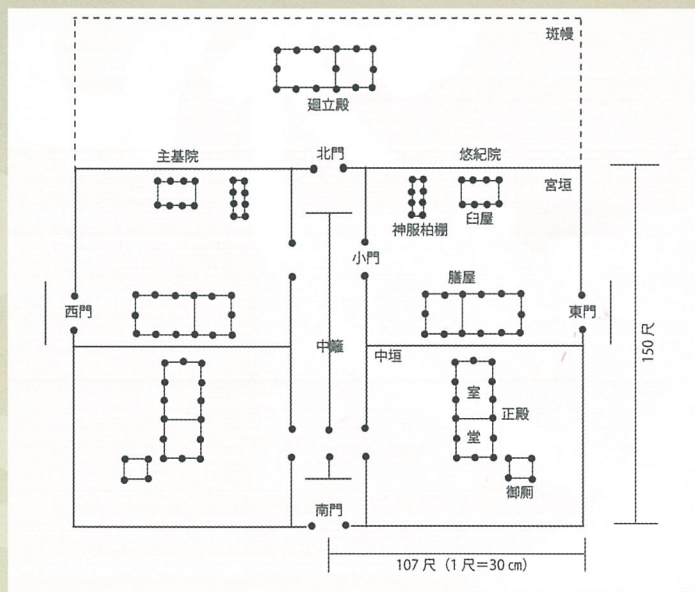
ました。

●即位式は、新帝が即位を宣命し、その即位を国内・諸外国に公式に宣言させる儀式です。国民の代表や海外の賓客などが招かれます。新帝は「黄櫨染」とよばれる深い黄色の束帯を着け、「高御座」に登られます。即位式は十月、皇居正殿で行われます。

●大嘗祭は、天皇一代に一度行われる祭祀で、新帝が自ら執り行う親祭です。大嘗祭は十一月に行われます。今回は、この大嘗祭を中心に述べたいと思います。

●大嘗祭は、「おおにえのまつり」ともいいます。八世紀に制定された法典である「養老律令」にも、「大嘗」と記載がありますが、これは、一世一代の「踐祚大嘗祭」と毎年恒例の「新嘗祭」の両方を指しています。新嘗祭とは、毎年行われる収穫祭です。語源は諸説ありますが、「ニヒ(=新穀)・アヘ(=饗応)」が転化したもの、という説があるように、新嘗の儀礼は、神への饗応が中心です。養老律令において、大嘗という言葉が、一世一代の大嘗祭と毎年恒例の新嘗祭の両方を指しているという事は、両者の祭儀の性格は同じということになります。それはつまり「神への饗応」なのです。

●大嘗祭の諸儀式のうち、最初に行われるのは



【儀式】にもとづく大嘗宮の建物・施設の配置図(笹生衛氏作図)

「国郡卜定」です。国郡卜定とは、神饌として供える御飯と御酒をつくる新穀を、どこの田で収穫するかを決める神事です。これは二ヶ所から選ぶ必要があり、第一の国郡を「悠紀」、第二の国郡を「主基」といいます。それぞれ、悠紀は「斎忌」で「清浄」、主基は「次」で「二番目」の意味とされています。平安〜江戸時代は、都の東は近江国(現在の滋賀県)、主基国は丹波国(現



在の京都府中部と兵庫県北部)か備中国(現在の岡山県西部)が選ばれていました。平成の大嘗祭では、悠紀国は秋田県、主基国は大分県が選ばれました。

●かつては、大被使が全国に派遣されて大被が行われ、天皇の御禊行幸が行われていました。御禊は、平安時代以降は賀茂川で行われていたが、室町時代の後期に廃絶してしまいました。

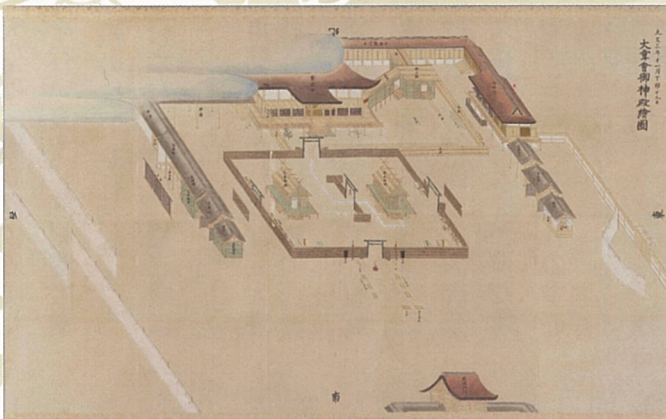
●八月になると、国郡卜定で決められた郡に、「拔穂使」が派遣されます。拔穂使は、「拔穂の儀」という収穫儀礼を奉仕します。収穫する齋田は、「拔穂田」もしくは「大田」と称され、現在では、その所有者は「大田主」と呼ばれ、大田主が収穫を奉仕します。かつては、「造酒見」という神聖な童女が、最初に稲穂を抜いていました。造酒見は、神饌の造酒と御飯の調理でも最初に手を下すなど、収穫から醸造・調理まで、稲穂に関するすべてに携わっていました。また、大嘗祭が行われる祭場の鎮祭、大嘗祭が行われる祭殿(大嘗宮)に用いる材木伐採の儀式などでも、重要な役割を果たす存在でありました。拔穂の儀で収穫された稲は「選子稲」と呼ばれ、齋場で保管されます。

○平成の大嘗祭の齋場は、東京の東御苑に設けられました。大嘗祭は、明治も東京で行われましたが、戦前の皇室典範では「即位ノ禮及大嘗祭ハ京都ニ於テ之ヲ行フ」と定められたことに

より、大正と昭和は京都御苑で行われました。かつては、都の朝堂院大極殿南の前庭に設けられるのが原則でした。大嘗祭は、室町時代後期に中絶し、近世に再興されましたが、再興後は、内裏紫宸殿の南庭で行われました。

●大嘗祭の中心となる祭儀は、十一月の中卯日(二番目の卯の日)に行われるため、「卯日神事」と呼ばれます。卯日神事が行われる齋場には、「悠紀殿」と「主基殿」と呼ばれる正殿が二つ建てられ、それぞれに、「膳屋」・「白屋」・「神服柏棚」・「御厨」などが設けられます。これらの施設を総称して「大嘗宮」と呼びます。大嘗宮は、卯日神事の七日前に齋場が鎮祭されて建てられ始めます。

●また、「廻立殿」と呼ばれる建物も一つ設けられます。廻立殿には潔斎のための浴場が準備され、天皇は廻立殿に入り「御湯の儀」で身体を清められるのです。卯日神事は、「悠紀殿の儀」と「主基殿の儀」の二回の神事が行われます。悠紀殿の儀は午後九時頃、



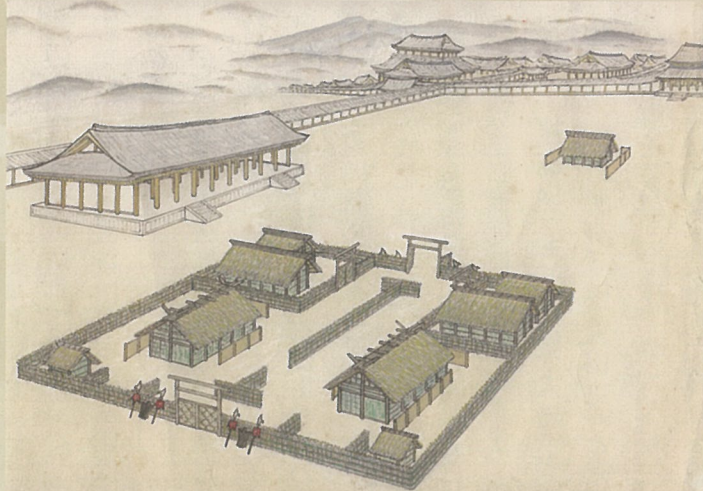
【元文三年大嘗会御神殿絵図】(國學院大學博物館蔵)



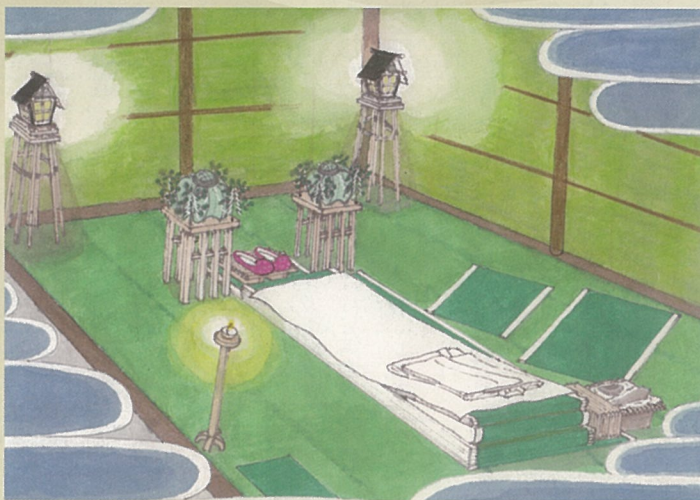
【貞享四年大嘗会図】(國學院大學図書館蔵)

主基殿の儀は午前三時頃から、約一〜二時間ずつ行われます。天皇は、廻立殿で神事装束である「祭服」をお着けになり、悠紀殿へ渡御なさいます。その道筋には布単が敷かれ、その上に葉薦を敷きながら天皇が進まれます。進んだ後、葉薦は巻き上げられます。行列が悠紀殿に進むと、天皇は正殿にお入りになります。そして、大嘗宮の膳屋で特別に調理・準備された神饌が、悠紀殿まで運ばれます。これを「神饌行立」といいます。神饌行立では、警蹕(けいひつ)がかげられますから、神饌が神や天皇に準じた扱いであることが分かります。正殿内で行われる神事は秘儀とされていますので、詳しくは分かりませんが、神





【平城京大嘗宮復元図】(中嶋宏子氏画)



【神殿内陣想定図】(中嶋宏子氏画)

饌の供進と共食の儀礼が中心と推定されています。正殿内は、内陣にあたる「室」と外陣にあたる「堂」とに分けられ、天皇は室の御座に就き、采女とよばれる女官は堂の座に就きます。采女は八人おり、このうち先頭の一人が「陪膳」という給仕役になります。膳屋から運ばれてきた神饌は、正殿内で采女から陪膳に手渡され、「御食薦」という天皇の御膳を並べる敷物の上に並べられます。そして、天皇が自ら御箸を用いて「枚手」というお皿に盛りつけ、陪膳が「神食薦」という神饌を供えるための敷物に並べるとされています。

●悠紀殿の儀を終えた天皇は、廻立殿にお戻りになり、再び御湯の儀を行います。悠紀殿の儀と同様の祭儀が、主基殿の儀でも行われます。そして、主基殿の儀を終えた天皇は、廻立殿に戻り、さらに住居空間へとお戻りになるのです。卯日神事が終わると、再び鎮祭が行われ、大嘗宮は壊されます。

●悠紀・主基の二つの儀式が繰り返して行われる意味は、夕膳と暁膳と考えられています。これは、伊勢の神宮における夕大御饌と朝大御饌の祭儀と共通します。大嘗祭は、天皇が神に膳を差し上げ、共に召し上がることが儀礼の中心と考えられます。

大嘗宮を見ても、神饌を調理する膳屋、稲を脱穀する白屋など、住居の台所にあたる建物群が広い面積を占めることを考えれば、やはり、神饌の供進が重要であったことが分かります。○天皇が神饌を差し上げる対象は、大嘗宮正殿の室に

において、天皇は伊勢神宮を意識した方角を向いて着座することから、天照大神が中心であると考えられます。天皇は、悠紀・主基両殿の儀において、祭服を着けると先述しましたが、祭服の袍は「生絹」です。生絹とは、蚕の繭玉から一本の線を引き出し、それを七本ほど合わせて一筋の糸とし、それをそのまま織る、最も基本的な平織の絹地のことです。また、大嘗宮は、古代の法典の一つである『延喜式』によると、もともと正殿は、地床の上に青草を敷き、さらに竹の簀を置いた簡素な土座でした。高床式の建物になるのは平安時代後期のことです。天皇は、卯日神事において、簡素な建物で、人の手をかけない原始的な生地のお着けになり、神饌を供進し、共食なさいます。ただ、準備される神饌の材料、建物群の素材、祭服の生地などは厳選され、準備の段階でも、厳しい物忌をして身体を清めて行われます。もちろん、祭祀を行う天皇や携わる人たちも、「散斎」や「致斎」を行うなど、身体を清めて卯日神事を迎えるのです。●以上、大嘗祭について、簡単に述べましたが、今年十一月に執り行われる大嘗祭が、滞りなく斎行されますことを心から願います。

【参考文献】

岡田莊司編『事典 古代の祭祀と年中行事』

(吉川弘文館、平成三十一年)

岡田莊司「大嘗祭と古代の祭祀」

(吉川弘文館、平成三十一年)



# 奉祝

## 「御代替り」について

御代替りとは皇位継承のことです。

皇位の御譲位からはじまって踐祚の式や大嘗祭など、二連の儀式が行われます。

### 御代替りの儀式

本号の特集では國學院大学の小林宣彦准教授に、大嘗祭について詳しく解説をしていただきました。ここでは、その他にどのような儀式がおこなわれるのか、平成の御代替りを参考にしながら、簡単に説明しましょう。

すでに行われたものも含め、主な儀式は次の通りです。

※参考：神社本庁HP (<https://www.jintahoncho.or.jp/>)

### 譲位（4月30日）

天皇が皇太子に皇位（天皇の位）をお譲りになり、天皇は上皇となられ、皇太子が新たな天皇となられることを「譲位」と言います。天皇陛下の御譲位を広く国民に明らかにするとともに、陛下が御譲位前に、最後に国民の代表者に会われる「退位礼正殿の儀」が執り行われました。

### 踐祚の式（5月1日）

踐祚とは天皇が皇位につかれることです。三種の神器や御璽、国璽を受け継がれる「劍璽等承継の儀」、皇位につかれたことを天照大御神や歴代天皇と皇族の御霊などに奉告される「賢所の儀・皇霊殿神殿に奉告の儀」、内閣総理大臣などに皇位につかれた旨を宣言する「即位後朝見の儀」などが行われました。

### 即位礼正殿の儀（10月22日）

高御座に登られ、内外に即位を宣明します。その後、祝福を受けられるための祝賀御列の儀が行われます。

### 大嘗祭

11月14日より15日にかけて執り行われます。

### 新元号「令和」について

5月1日から元号が改まりました。これまでの元号はすべて漢籍（中国の古典）からとられてきましたが、新しい元号「令和」は初めて日本の古典『万葉集』を典拠に定められました。

初春の令月にして、気淑く風和ぎ、  
梅は鏡前の粉を披き、  
蘭は珮後の香を薫らす

『万葉集』巻五、梅花の歌三十二首序文

【現代語訳】初春の佳き月で、空気は清く澄みわたり、風はやわらかくそよいでいる。梅は佳人の鏡前の白粉のように咲いているし、蘭は貴人の飾り袋の香のように匂っている。

安倍晋三首相は新元号に込めた意味について「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」と説明しています。

元号は、ときの天皇の御代を表象するものと言えます。元号は良い意味を持つ2字を用いることとなっており、国民の理想としてふさわしい字が当てられます。





# 四季折々のまつり 年間祭典一覧



花会祭

- 1月1日 歳旦祭
- 1日 初詣講祈禱祭
- 3日 元始祭
- 7日 昭和天皇祭遙拝
- 11日 市神社初市祭
- 13日 松尾神社例祭
- 15日 春渡祭(神輿渡御)
- 19日 月次祭
- 28日 永代太々神楽祈禱祭
- 2月1日 月次祭
- 1日 市神社花市祭
- 節分日 厄難消除祈禱講祭
- 11日 紀元祭
- 17日 祈年祭
- 19日 月次祭
- 陰暦二月初午
- 3月1日 初辰稻荷神社初午大祭
- 15日 月次祭
- 15日 十社例祭
- 19日 月次祭
- 春分日 春季皇霊祭遙拝
- 4月1日 月次祭
- 3日 神武天皇祭遙拝
- 11日 花会祭
- 19日 東国御治定記念祭
- 19日 下之宮東国御治定記念祭
- 29日 昭和祭

- 5月1日 月次祭
- 15日 田舞祭
- 19日 月次祭
- 28日 永代太々神楽祈禱祭
- 6月1日 月次祭
- 1日 東照宮社例祭
- 15日 須賀神社例祭
- 15日 市神社例祭
- 15日 荒神社例祭
- 15日 剣宮例祭
- 19日 月次祭
- 30日 大祓式
- 7月1日 月次祭
- 15日より21日まで 須賀神社天王祭(神輿渡御)
- 8月1日 月次祭
- 19日 月次祭
- 4日 菅原神社例祭
- 19日 月次祭
- 27日 喜佐見分祠例祭



永代太々神楽祈禱祭

- 9月1日 月次祭
- 15日 十二社例祭
- 19日 月次祭
- 秋分日 秋季皇霊祭遙拝
- 28日 永代太々神楽祈禱祭
- 10月1日 月次祭
- 17日 神嘗奉祝祭
- 19日 月次祭
- 21日 例祭(秋山祭)
- 21日 下之宮例祭
- 22日 女体宮例祭
- 最終土・日曜日 菊水祭
- (鳳輦渡御)
- (流鏝馬神事)



菊水祭(流鏝馬神事)

## 礼 祭 御 渡

- 11月1日 月次祭
- 3日 明治祭
- 19日 月次祭
- 12月1日 月次祭
- 15日 冬渡祭
- 19日 月次祭
- 20日 煤払式
- 31日 大祓式
- 31日 除夜祭



おたりや

年間祭典の中から、  
渡御の日程をご案内します。

### 天王祭

7月15日(月・海の日)～21日(日)  
○親子神輿対面神事

7月20日(土)

○須賀神輿渡御【上町～下町】

7月21日(日)

### 菊水祭

○鳳輦渡御及び流鏝馬神事

【上町】10月26日(土)

【下町】10月27日(日)

### 御大典奉祝神輿渡御

11月23日(土・勤労感謝の日)

### おたりや

○冬渡祭神輿渡御

【下町～上町】12月15日(日)

○春渡祭神輿渡御

【上町～下町】

令和2年1月15日(水)

天王祭(親子御輿対面神事)





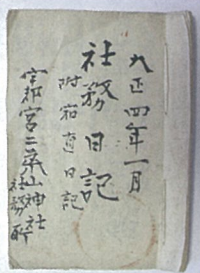
# 宇都宮のおまつり今昔

## 「大嘗祭 当日祭」

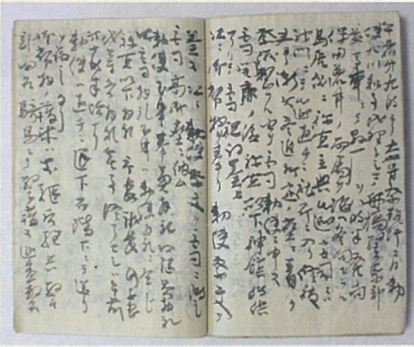
今から約一〇〇年以前の  
大正四年(1915)十一月十四日、  
二荒山神社に、天皇陛下のお遣いである勅使が派遣されて、  
大嘗祭当日祭が行われました。

社務の記録によると当時の宮司や神職と共に祭典を奉仕し、  
御神前に幣物(天皇陛下からの捧げ物)が奉られ、祭文(祝詞)  
が奏上されました。この際に奉られた祭文の宣命紙が現在も  
大切に保存されています。

「大嘗祭」は即位された天皇陛下が御一代に一度行われる大  
切な祭祀で、本年十一月十四日の夕刻より十五日にかけて「大  
嘗宮の儀」が執り行われます。このため全国の神社において  
も大嘗祭当日の祭典を大祭として行う予定になっています。



大正4年の社務日誌。現在も神職が日々社務の記録を行っている。



(現在は勅使の派遣はありません)

### 御代替御大典に関する 神社で行う祭典

- 5月1日以降  
踐祚改元奉告祭
- 10月22日  
即位礼当日、神社に於て  
行う祭礼
- 11月12日  
臨時大祓
- 11月14日  
大嘗祭当日、神社に於て  
行う祭礼
- 11月23日  
御大典奉祝神輿渡御

※日程は予定です。変更される場合があります。

巫女さんに聞いた!

## 二荒山神社のあれこれ

### 御朱印と御朱印帳

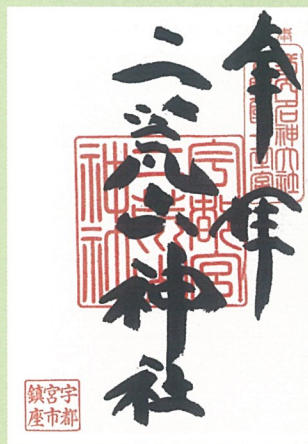
神社やお寺にお参りした際、御朱印をご希望される方が増えてい  
ます。

私ども二荒山神社の御朱印  
①は、神職が皆さまの平安  
をお祈りしながら、1枚1枚  
心をこめて書いております。

お正月より始まりましたお  
姿絵入りの御朱印もございま

す②。二荒山神社の相殿の神様、大物主命おものぬしのみことと事代主命ことしろぬしのみこと 恵比須さまのお姿を描いた、2枚1組の御朱印です。宇都宮市の拓版画家、坂本富男先生に描いていただきました。

御朱印をお受けになる場合は、社務所までおいでください。オリ  
ジナル御朱印帳も白と桃色の2種類ご用意しております③。



▲① 二荒山神社の御朱印



宇都宮二荒山神社相殿

大物主命

御朱印



宇都宮二荒山神社相殿

事代主命

御朱印

▲② お姿絵の入った御朱印



▲③ 二荒山神社の御朱印帳(2種類)





## フタバ食品 株式会社

### 広く親しまれている食文化創造企業

各種アイスクリーム類でおなじみの「フタバ食品」。創業は、戦後間もない1945年。1951年にはアイスクリームの製造を開始しています。現在は、アイスクリーム類および乳製品、冷凍調理食品やマロングラッセなどの菓子類、中華まんじゅうなどと幅広く展開。さらに、餃子の製造・販売や、施設内のレストラン運営も行っています。

フタバ食品といえば、やはりリアイスクリューム。40種類以上の商品のなかでも不動の人気を誇る「サクレレモン」は、発売から約40年というロングセラー商品です。現在、国内全



▲「おいさと楽しさ、安心と安全」を追及していきます」と増淵正二社長

域はもとより、アメリカと東南アジア、中東にも販路を拡大。「国内生産で海外に輸出している数量としては、当社が一番多いかと思います」と増淵社長。おいしさはもちろんメイド・イン・ジャパンの強みで海外でも人気を博しています。また、新里ネギや中山カボチャなど、地元産の素材を使った商品も多数開発。4月22日には待望の「サクレレモン」が発売されます。

住 所 | 宇都宮市一条 4-1-16  
T E L | 028-634-2441  
F A X | 028-636-1475  
U R L | <http://www.futabafoods.co.jp>

## 山ニクリーニング 有限会社

### 培われた信用と高い技術で地域に貢献

赤門通りをそのまま直進し、慈光寺の赤門を過ぎると左手に目を引く店構え。看板の「感謝と奉仕」の文字が印象的です。1951年から、この地でクリーニング業を営む「山ニクリーニング」。店の一角に宅配の大きなダンボールが置かれています。「宅急便で東京から送っていただくんですよ。ありがたいです」と語る3代目の上野社長。近所や市内だけでなく、遠方からのお客も少なくないのは、ひとえに高い技術と仕事の丁寧さゆえ。とりわけ、近年はシミ抜きの依頼が増えているそうです。「よそでは落ちなかったシミや汚れが落ちて、喜んでいただけると、やりがいを感じます」と社長。祭好きで、12年間「塙田睦会」の会長として活躍していましたが、今年の総会において後進にその座を譲りました。伝統も技術も受け継いでいく、との思いが感じられます。

また、今年の2月24日には天皇陛下の御即位30年を奉祝して、昭和10年に御誕生を記念して造られたという由緒ある神輿を宮出し、市内を渡行しました。

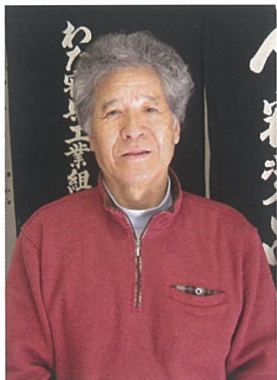


▲「感謝と奉仕、そして技術でがんばっています」と上野裕司社長

住 所 | 宇都宮市塙田 4-9-5  
T E L | 028-622-8589  
F A X | 028-622-8617

## 西大寛本町自治会

旧鹿沼街道沿いは、昔ながらの商店街の趣が残る、どこか懐かしい雰囲気漂います。「私たちの子どもの頃は、いろんなお店が並ぶにぎやかな商店街で、ここだけでなんでも揃ったもんです」と懐かしげに語るのは、西大寛本町自治会会長、久保田港三さん。家業のふとん店を営むかたわら、自治会の運営に取り組んでいます。現在120世帯を擁する西大寛本町自治会。初午には町内の稲荷神社の相撲大会、天王祭と宮まつりには神輿を繰り出し、盆踊りや敬老会と行事も多く、その活動は盛んです。「私どものところは、先輩方から代々受け継いでくれているので、自治会の活動も定着していますね。新しい世帯や若い人には、こちらから積極的にお声をかけるようにしています」と、久保田会長。



▲西大寛本町自治会会長 久保田港三さん

## 千手町自治会

二荒山神社にも程近い千手町自治会。「千手町自治会は、現在は18世帯と少ないのですが、冬渡祭、天王祭、菊水祭など二荒山神社の祭礼には会を挙げて参加しています」と語るのは、千手町自治会の山村隆さん。山村さんは自治会のほかにも、バンパ通り商店街にも関わり、祭のさまざまな場面で活動しています。もともと祭好きの山村さん。幼い頃、祭好きの父上の姿に憧れたのがその原点とか。神輿の棒組み、紐の縛り方など、代々受け継がれる技や伝統を次の世代に継承し、残すべく東奔西走しています。また、県内はもとより、都内の祭にも参加。肩のコブも祭好きの勲章です。「神輿をかつぐためには、足腰と体幹を鍛えておかなければ」と、平日頃のトレーニングを欠かしません。



▲千手町自治会 山村 隆さん



## 渡御祭礼協賛者芳名(敬称略)

(有)福勝不動産 (有)鈴木電気 関根  
 則次公認会計士事務所 台資会社  
 花久 福田勝美 (有)福田コーポ

レーション ●ホテル丸治 (株)アクティチャレンジ代表取締役中村雄三 (有)宇都宮ガールズ  
 功 (有)料亭明治屋 大谷通り桜会 ●谷田部駿 ●谷田部石材販売 ●山本孝雄 ●松本光司 ●清水明 ●大  
 和証券(株)宇都宮支店 (株)常陽銀行宇都宮支店 ●野村證券(株)宇都宮支店 ●高山忠男 ●下野印刷(株)  
 (株)栃木銀行馬場町支店 ●(株)東武ホテルマネジメント宇都宮東武ホテルグランデ ●(株)トーホー・北  
 関東 ●昭和商事(株) ●(株)石ビル ●とちぎんTT証券(株) ●印出井歯科医院 ●秋山塗工(株) ●(株)福田屋百  
 貨店 ●(株)大湖 ●大和食品(株) ●(株)福田機械店 ●(株)山本損保プロ保険サービス ●(株)歩行者 ●タイムズ2  
 4(株) ●SMB C日興証券(株) ●(有)大磯開発社長磯盛次 ●(有)八百熊本店 ●荒井一郎 ●高橋勝男 ●ビュ  
 ティーサロンモード ●千蔵工業(株) ●奥村稅務會計事務所奥村正 ●塩井庸次 ●高橋稅務會計事務所  
 稅理士高橋裕樹 ●国伸綜合貿易(有)代表取締役神戶俊輔 ●銀座齋藤千代子 ●パークラック柿沼典克  
 ●廻谷賢二 ●割烹吉本 ●田舎料理水月柿沼英雄 ●(有)齋藤石材店齋藤充 ●(株)五光宇都宮店 ●(株)博報社  
 代表取締役高山仁 ●冨塚メディカルクリニック院長冨塚浩 ●(株)ケーエフシー代表取締役神戶健弥  
 ●(株)テクニカルワーク代表取締役矢野隆昭 ●中山剛夫 ●あら玉 ●(株)解放エンタープライズ ●後藤  
 孝子 ●割烹柏 ●(有)堺屋商店 ●宇都宮オリオン通り商店街振興組合 ●ゆたか陶器 ●(有)シルバー大橋  
 敦司 ●長谷川時計店 ●(株)丸美屋呉服店 ●関一夫 ●菱沼薬局 ●藤井昌一 ●ミドリ薬局猪瀬和人 ●(株)タ  
 カモリ高山功紀 ●大谷和氣保險事務所和氣理絵子 ●田中洋一 ●時計・宝石タケカワ ●(株)足利銀行宇  
 都宮支店 ●フタバ食品(株) ●医療法人至誠会滝澤病院 ●(株)山田信金庫 ●(株)木下トヨタ自動車(株) ●(株)家  
 具の上野 ●(有)シンガイ写真館 ●(株)栃木信用金庫 ●(有)長瀬文具店 ●(有)長岡工業 ●宇都宮グランドホテ  
 ル ●稲葉勉法律事務所 ●(有)ラッキーマテリアル ●あおいニッセイ同和損害保険(株)栃木支店 ●三栄  
 不動産(株) ●勝田亨 ●鈴木久子 ●照井栄子 ●鈴木洋子 ●増田安雄 ●池田節子 ●(有)板倉美容院板倉富子  
 ●(株)キクヤ ●鈴木功 ●田中駐車場 ●齋藤商事(株) ●銘茶関口園 ●(株)パルコ宇都宮店 ●(株)協同組合宇都宮  
 餃子会 ●宇都宮みんな ●榎屋グループ ●(株)不動産株式会社 ●野沢秀熙 ●(有)医療法人中山会宇都宮  
 記念病院 ●黒崎齒科医院 ●(株)野沢秀熙 ●(有)野澤孝商店 ●(株)福田屋呉服店 ●(株)新三 ●(株)新三鈴木淑子 ●秋田  
 ●(株)堀井 ●(有)丸伊呉服店 ●(株)田代久太郎商店 ●山ニクリーニング(有)代表取締役上野裕司 ●(有)古  
 宮酸素(株) ●(株)町田建築工業 ●(株)須山液化ガス ●アクアインボッカ ●ナオミオオガキ ●(有)ル・プラン  
 ●居酒屋京屋 ●(株)オートワクリエーション ●金井會計事務所 ●デザイノアルグレレイ田代暢雄 ●(有)サ  
 ンエイ通信三品隆雄 ●(有)中国料理虎前田賢司 ●(株)高崎工務店高崎英雄 ●青源味噌(株) ●アサヒビル  
 (株)栃木支店 ●割烹うをのぶ ●鈴木久一 ●花正 ●(株)虎屋本店 ●(有)仁科権蔵商店 ●(有)オリオン商事 ●(株)  
 井上総合印刷 ●(株)渡辺有規建築企画事務所 ●渡辺建設(株) ●栗田工業(株) ●(株)タイドードリオン ●(株)サ  
 ビス関東宇都宮営業所 ●(株)とらや弥生 ●(株)ロココ企画装飾 ●(株)群馬銀行宇都宮支店 ●秋澤信仁 ●(有)  
 篠崎允孝商店 ●フロマージュリール ●(株)コミター ●(有)酔心 ●(有)田代武道具店 ●(株)シノザキ ●(株)コ  
 アミ計測機 ●マスター・商事(株) ●(有)松村 ●(株)大貫商店 ●(株)渡清 ●(株)オアシス ●(株)高林堂 ●小谷野儀一 ●  
 (株)鯉淵建設 ●(株)横倉本店 ●(株)辻由 ●川村公認會計士事務所 ●(株)関口 ●関口快流 ●ホテルサンルート  
 宇都宮 ●(株)トーホク ●合名会社つちや ●宇都宮ステーションホテル ●宇都宮卸商業団地協同組合  
 ●(株)竹石紙店 ●(株)栃木小松フオークリフト(株) ●(株)リコージャパン(株) ●(株)増測組 ●宇都宮商工会議所 ●(株)  
 宮本印刷 ●小花塗装(株) ●タカクコーボ高工正三 ●割烹中村 ●(有)アサヒ商事 ●三和青果(株) ●おでのん  
 んき ●カフェドオリオン ●(有)いねや旅館

## 二荒山神社氏子町会

※自治会は省略させていただきます

### 上町

●旭町湖南 ●旭町二丁目中央 ●伊賀町北部 ●池上町 ●泉町 ●一 ●一条  
 町二丁目 ●一条三丁目 ●一条四丁目 ●歌橋町 ●江野町 ●和尚塚南部 ●和尚  
 塚二丁目 ●小幡町東部 ●小幡町西部 ●小幡町北部 ●小幡町南部 ●河原町 ●  
 北一 ●の沢亀鶴荘 ●清住町 ●小伝馬町 ●寿町 ●幸町 ●境町 ●桜通り ●桜大谷  
 通り ●桜東 ●桜二丁目 ●西原西組 ●三条町北部 ●三条町南部 ●三条町もみ  
 じ通り ●材木町通り協和会 ●材木町中央 ●材木町五番 ●昭和通り ●新川 ●  
 新石町 ●杉原尾上町 ●住吉陽西通り ●滝谷町 ●滝谷町東部 ●滝谷町西 ●大  
 寛一丁目 ●大寛二丁目 ●大寛三丁目 ●大寛四丁目 ●大寛五丁目 ●大寛六丁目 ●大寛七丁目 ●大  
 寛八丁目 ●中央一丁目 ●中央二丁目 ●中央三丁目 ●中央四丁目 ●中央五丁目 ●中央六丁目 ●中央七丁目 ●中央八丁目 ●中央九丁目 ●中央十丁目 ●中央十一丁目 ●中央十二丁目 ●中央十三丁目 ●中央十四丁目 ●中央十五丁目 ●中央十六丁目 ●中央十七丁目 ●中央十八丁目 ●中央十九丁目 ●中央二十丁目 ●中央二十一丁目 ●中央二十二丁目 ●中央二十三丁目 ●中央二十四丁目 ●中央二十五丁目 ●中央二十六丁目 ●中央二十七丁目 ●中央二十八丁目 ●中央二十九丁目 ●中央三十丁目 ●中央三十一丁目 ●中央三十二丁目 ●中央三十三丁目 ●中央三十四丁目 ●中央三十五丁目 ●中央三十六丁目 ●中央三十七丁目 ●中央三十八丁目 ●中央三十九丁目 ●中央四十丁目 ●中央四十一丁目 ●中央四十二丁目 ●中央四十三丁目 ●中央四十四丁目 ●中央四十五丁目 ●中央四十六丁目 ●中央四十七丁目 ●中央四十八丁目 ●中央四十九丁目 ●中央五十丁目 ●中央五十一丁目 ●中央五十二丁目 ●中央五十三丁目 ●中央五十四丁目 ●中央五十五丁目 ●中央五十六丁目 ●中央五十七丁目 ●中央五十八丁目 ●中央五十九丁目 ●中央六十丁目 ●中央六十一丁目 ●中央六十二丁目 ●中央六十三丁目 ●中央六十四丁目 ●中央六十五丁目 ●中央六十六丁目 ●中央六十七丁目 ●中央六十八丁目 ●中央六十九丁目 ●中央七十丁目 ●中央七十一丁目 ●中央七十二丁目 ●中央七十三丁目 ●中央七十四丁目 ●中央七十五丁目 ●中央七十六丁目 ●中央七十七丁目 ●中央七十八丁目 ●中央七十九丁目 ●中央八十丁目 ●中央八十一丁目 ●中央八十二丁目 ●中央八十三丁目 ●中央八十四丁目 ●中央八十五丁目 ●中央八十六丁目 ●中央八十七丁目 ●中央八十八丁目 ●中央八十九丁目 ●中央九十丁目 ●中央九十一丁目 ●中央九十二丁目 ●中央九十三丁目 ●中央九十四丁目 ●中央九十五丁目 ●中央九十六丁目 ●中央九十七丁目 ●中央九十八丁目 ●中央九十九丁目 ●中央百丁目 ●中央百一丁目 ●中央百二丁目 ●中央百三丁目 ●中央百四丁目 ●中央百五丁目 ●中央百六丁目 ●中央百七丁目 ●中央百八丁目 ●中央百九丁目 ●中央百十丁目 ●中央百一十一丁目 ●中央百一十二丁目 ●中央百一十三丁目 ●中央百一十四丁目 ●中央百一十五丁目 ●中央百一十六丁目 ●中央百一十七丁目 ●中央百一十八丁目 ●中央百一十九丁目 ●中央百二十丁目 ●中央百二十一丁目 ●中央百二十二丁目 ●中央百二十三丁目 ●中央百二十四丁目 ●中央百二十五丁目 ●中央百二十六丁目 ●中央百二十七丁目 ●中央百二十八丁目 ●中央百二十九丁目 ●中央百三十丁目 ●中央百三十一丁目 ●中央百三十二丁目 ●中央百三十三丁目 ●中央百三十四丁目 ●中央百三十五丁目 ●中央百三十六丁目 ●中央百三十七丁目 ●中央百三十八丁目 ●中央百三十九丁目 ●中央百四十丁目 ●中央百四十一丁目 ●中央百四十二丁目 ●中央百四十三丁目 ●中央百四十四丁目 ●中央百四十五丁目 ●中央百四十六丁目 ●中央百四十七丁目 ●中央百四十八丁目 ●中央百四十九丁目 ●中央百五十丁目 ●中央百五十一丁目 ●中央百五十二丁目 ●中央百五十三丁目 ●中央百五十四丁目 ●中央百五十五丁目 ●中央百五十六丁目 ●中央百五十七丁目 ●中央百五十八丁目 ●中央百五十九丁目 ●中央百六十丁目 ●中央百六十一丁目 ●中央百六十二丁目 ●中央百六十三丁目 ●中央百六十四丁目 ●中央百六十五丁目 ●中央百六十六丁目 ●中央百六十七丁目 ●中央百六十八丁目 ●中央百六十九丁目 ●中央百七十丁目 ●中央百七十一丁目 ●中央百七十二丁目 ●中央百七十三丁目 ●中央百七十四丁目 ●中央百七十五丁目 ●中央百七十六丁目 ●中央百七十七丁目 ●中央百七十八丁目 ●中央百七十九丁目 ●中央百八十丁目 ●中央百八十一丁目 ●中央百八十二丁目 ●中央百八十三丁目 ●中央百八十四丁目 ●中央百八十五丁目 ●中央百八十六丁目 ●中央百八十七丁目 ●中央百八十八丁目 ●中央百八十九丁目 ●中央百九十丁目 ●中央百九十一丁目 ●中央百九十二丁目 ●中央百九十三丁目 ●中央百九十四丁目 ●中央百九十五丁目 ●中央百九十六丁目 ●中央百九十七丁目 ●中央百九十八丁目 ●中央百九十九丁目 ●中央百十

### 下町

●相生町 ●旭三の丸 ●本丸西部 ●旭南 ●旭町一丁目北部 ●旭町本丸 ●旭二  
 南館 ●今小路 ●今泉町 ●大町 ●扇町 ●大管二区 ●大管三区 ●大管西町 ●小  
 門町 ●押切町 ●小田町 ●御蔵町 ●川向一丁目 ●川向二丁目 ●川向三丁目 ●  
 川向四丁目 ●川向五丁目 ●川向六丁目 ●上河原 ●河原町 ●亀井が丘 ●旭栄  
 町 ●石町 ●小袋町 ●宿郷町一丁目 ●宿郷町二丁目 ●宿郷町三丁目 ●宿郷町  
 四丁目 ●宿郷町五丁目 ●東 ●宿郷町八丁目 ●八日市場 ●下河原町 ●清水  
 町 ●新宿町 ●千手町 ●大工町 ●二の丸(中央三丁目) ●寺町 ●天神町 ●中河  
 原町 ●中河原一丁目 ●中塙町 ●八幡山 ●塙田百鬼 ●東塙田一区 ●東塙田  
 二区 ●塙田三区 ●東塙田四区 ●東塙田五区 ●東塙田六区 ●東塙田七区 ●平  
 松町 ●日野町 ●二荒町 ●築瀨一丁目 ●峰町二区 ●宮島町 ●宮町  
 (一区) ●元石町 ●築瀨二丁目上組 ●築瀨旭陵通り ●築瀨三丁目 ●築瀨四  
 丁目 ●築瀨五丁目 ●築瀨六丁目 ●築瀨七丁目 ●築瀨八丁目 ●築瀨九丁目 ●築瀨十丁目 ●築瀨十一丁目 ●築瀨十二丁目 ●築瀨十三丁目 ●築瀨十四丁目 ●築瀨十五丁目 ●築瀨十六丁目 ●築瀨十七丁目 ●築瀨十八丁目 ●築瀨十九丁目 ●築瀨二十丁目 ●築瀨二十一丁目 ●築瀨二十二丁目 ●築瀨二十三丁目 ●築瀨二十四丁目 ●築瀨二十五丁目 ●築瀨二十六丁目 ●築瀨二十七丁目 ●築瀨二十八丁目 ●築瀨二十九丁目 ●築瀨三十丁目 ●築瀨三十一丁目 ●築瀨三十二丁目 ●築瀨三十三丁目 ●築瀨三十四丁目 ●築瀨三十五丁目 ●築瀨三十六丁目 ●築瀨三十七丁目 ●築瀨三十八丁目 ●築瀨三十九丁目 ●築瀨四十丁目 ●築瀨四十一丁目 ●築瀨四十二丁目 ●築瀨四十三丁目 ●築瀨四十四丁目 ●築瀨四十五丁目 ●築瀨四十六丁目 ●築瀨四十七丁目 ●築瀨四十八丁目 ●築瀨四十九丁目 ●築瀨五十丁目 ●築瀨五十一丁目 ●築瀨五十二丁目 ●築瀨五十三丁目 ●築瀨五十四丁目 ●築瀨五十五丁目 ●築瀨五十六丁目 ●築瀨五十七丁目 ●築瀨五十八丁目 ●築瀨五十九丁目 ●築瀨六十丁目 ●築瀨六十一丁目 ●築瀨六十二丁目 ●築瀨六十三丁目 ●築瀨六十四丁目 ●築瀨六十五丁目 ●築瀨六十六丁目 ●築瀨六十七丁目 ●築瀨六十八丁目 ●築瀨六十九丁目 ●築瀨七十丁目 ●築瀨七十一丁目 ●築瀨七十二丁目 ●築瀨七十三丁目 ●築瀨七十四丁目 ●築瀨七十五丁目 ●築瀨七十六丁目 ●築瀨七十七丁目 ●築瀨七十八丁目 ●築瀨七十九丁目 ●築瀨八十丁目 ●築瀨八十一丁目 ●築瀨八十二丁目 ●築瀨八十三丁目 ●築瀨八十四丁目 ●築瀨八十五丁目 ●築瀨八十六丁目 ●築瀨八十七丁目 ●築瀨八十八丁目 ●築瀨八十九丁目 ●築瀨九十丁目 ●築瀨九十一丁目 ●築瀨九十二丁目 ●築瀨九十三丁目 ●築瀨九十四丁目 ●築瀨九十五丁目 ●築瀨九十六丁目 ●築瀨九十七丁目 ●築瀨九十八丁目 ●築瀨九十九丁目 ●築瀨百

## 平成30年度 渡御祭礼報告

<b>天王祭</b>	祭典期間	7月14日(土)~20日(金)	7日間
	親子御輿対面神事	7月14日(土)	参加26町会 神輿29基
	須賀御渡御	7月15日(日)	下町一上町
<b>菊水祭</b>	鳳輦渡御及び 流籠馬神事	10月27日(土) 下町 10月28日(日) 上町	
	火船太鼓 桃太郎山車展示		
<b>おたりや</b>	冬渡祭御輿渡御 春渡祭御輿渡御	平成30年12月15日(土)	下町一上町 平成31年 1月15日(火) 上町一下町

## 平成30年度 二荒山神社渡御祭礼会計

歳入の部		歳出の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
氏子町会奉納金	2,242,560	天王祭祭礼費	1,995,447
祭礼協賛金	2,800,000	菊水祭祭礼費	2,809,985
神社補助金	2,900,000	冬春渡祭祭礼費	1,026,716
雑収入	66,006	事務費	322,664
繰越金(前年度より)	1,911,659	雑費	2,253,853
合計	9,920,225	合計	8,408,665



「御代替りの御大典奉祝」記念事業

御奉賛のお願い

氏子崇敬者の皆様には、常に変わらぬご敬神をお示しいただき深く感謝申し上げます。

県都宇都宮市の中央に鎮まる宇都宮二荒山神社は、明治時代以前には宇都宮大明神とも称し、下野国（栃木県）一之宮として篤く信仰されて参りました。

御承知のとおり「宇都宮」の地名は、神社の別称である「宇都宮」が起源とされ、市民憲章にも「二荒の杜を中心に栄えてきた街です」と謳われております。

御鎮座以来今日までの永い歴史の中、我が国と地域・郷土の平安を願うお祭りを行う事で、絶えることのない祈りの心を受け継いで参りました。

五月一日に天皇陛下が御即位され、新元号の御代を迎えました。

この度の御大典を奉祝申し上げると共に、愈々御神威高揚の諸記念事業を計画いたす事となりました。

新しき大御代と、郷土の御栄を祈念し奉祝のお祭りを斎行し、歴史伝統ある神社諸祭事のさらなる振興、そして氏子崇敬者のみなさまに潤いと、心の安らぎを感じていただけるよう、「二荒の杜」の境内及び社殿改修などの環境整備を行いたいと存じます。

つきましては、なにとぞ格別なる御理解をいただき、御奉賛の誠を賜りますようお願い申し上げます。

宇都宮二荒山神社 宮司 阿部 徳  
 全 氏子総代会 会長 齋藤 高 蔵

「御代替りの御大典奉祝」記念事業

◇ 記念事業の概要

- 一、奉祝事業 奉祝祭・渡御祭・記念植樹を行います。
- 二、拝殿修理工事（二期工事）
- 三、境内整備工事（二期工事）
- 四、東神苑（歩道車道）工事（三期工事）
- 五、祭礼衣装・祭具新調 歴史伝統ある渡御神事の振興をはかります。

◇ 奉賛お申し込み

- ・ 御奉賛金 一口 一万円より（口数の制限はありません）
- ・ 募集期間 平成三十一年 四月より（二年間）
- ・ お申し込み
- ① 御奉納御持参の方は、社務所にお申し込みください。
- ② 銀行振込

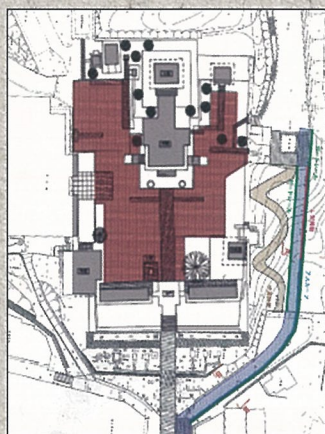
足利銀行 宇都宮支店1001 普通1353312  
 栃木銀行 馬場町支店005 普通1082652  
 口座名義 宇都宮二荒山神社 宮司 阿部 徳  
ウツノミヤフクラヤマジンジャ クウジ アベ サトシ  
 ※恐れ入りますが振込手数料はご負担ください。

◇ 御奉賛に対する待遇

御奉賛金	待遇	対象
百万円以上	特別記念品・芳名顕彰	会社・個人
十万円以上	記念品・芳名顕彰	会社・個人
二万円以上	芳名顕彰	個人

◇ お問い合わせ

宇都宮二荒山神社社務所  
 電話 028(622)5271  
 〒320-0026  
 宇都宮市馬場通り二丁目一番一号



▲境内整備及び東神苑参道整備図



▲拝殿（栃木県指定文化財）修理工事



# 「天皇陛下御即位奉祝」記念事業御奉賛のお願い

氏子崇敬者の皆様には、常に変わらぬご敬神をお示しいただき深く感謝申し上げます。  
五月一日に天皇陛下が御即位され、新元号「令和」の御代を迎えました。  
この度の新帝御即位を奉祝申し上げ、下記の通り記念事業を執り行う事と致しました。  
つきましては、なにとぞ格別なる御理解をいただき、御奉賛の誠を賜りますようお願い申し上げます。

宇都宮二荒山神社 宮 司 阿 部 徳  
全 氏子総代会 会 長 齋 藤 高 蔵

## ◇奉祝記念事業の概要（事業費 総額 一億円）

- 一、奉祝行事 奉祝祭・渡御祭・記念植樹
- 二、拝殿修理（一期）・境内整備（二期）工事
- 三、東神苑（歩道車道）工事（三期工事）
- 四、歴史伝統ある渡御神事の振興

## ◇奉賛お申込み

- ・御奉賛金 一口 一万円より（口数の制限はありません）
- ・お申込み ①御奉納御持参の方は、社務所にお申込み下さい。  
②銀行振込 恐れ入りますが振込手数料はご負担下さい。

足利銀行 宇都宮支店 101 普通 135312

栃木銀行 馬場町支店 005 普通 1082652

ウツノミヤフタアラヤマジンジャ グウジ アベ サトシ

口座名義 宇都宮二荒山神社 宮司 阿部 徳

## ◇芳名顕彰 奉賛者のお名前を記した記念碑を、神社境内に設置致します。

（申込書は切り取らずご使用下さい）

### 奉 祝 記 念 事 業 申 込 書

No. \_\_\_\_\_

奉祝記念事業の趣旨に賛同し奉賛申込みします。

令和 年 月 日

奉賛者 いづれかに○をお付け下さい。	1、個人（1口 1万円より） 2、会社団体（1口 10万円より）
御住所	〒
御芳名	*記載の通り芳名顕彰致します。楷書で正確にご記入願います。 ふりがな 1、個人名 ふりがな 2、会社団体 ふりがな 代表者名
御連絡先	TEL ( ) ・ FAX ( )
奉賛金	金、 円也 ( 口 )
奉賛納金	1、現金納入 2、銀行振込 {足利銀行・栃木銀行}

申込みは、郵送またはFAX（028-624-3204）にて送付願います。

〒320-0026 宇都宮市馬場通り1-1-1 宇都宮二荒山神社社務所

TEL 028(622)5271 ・ FAX 028(624)3204



# 二荒山神社の社殿6棟が、 栃木県有形文化財・建造物に指定されました。

二荒山神社の本殿、拝殿、女体宮、神楽殿、神門、東回廊は明治時代の始めより大正時代にかけて建築されたものです。平成31年3月29日に栃木県教育委員会より、本殿など6棟が貴重な建築物であることから、栃木県指定有形文化財に指定されました。



本殿 明治10年(1877)



拝殿 明治10年(1877)



神門 大正6年(1917)



女体宮 大正15年(1926)



東回廊 大正6年(1917)



神楽殿 明治19年(1886)



神門・東回廊(内側)



# ふたあらし

かわら版  
Vol.7

## 宇都宮で11月に 3×3世界No.1チームが決定!!

東京オリンピックの正式競技種目にもなっている、3×3(3人制バスケットボール)の世界No.1クラブチームを決定する「FIBA 3×3 World Tour UTSUNOMIYA Final 2019」が11月2・3日の両日、二荒山神社と



昨年開催された「FIBA 3×3 World Tour UTSUNOMIYA Final 2018」

バンパ広場を会場に開催されます。

## ふたあらし 二荒山寄席

二荒山神社の会館で定期的に寄席を開きます。(主催・企画：街かど遊藝サロン・清水一朗代表)

3月17日の初回から4回までは、雷門小助六さん(真打)他が出演して、宇都宮にゆかりの深い「小倉百人一首」をテーマに開催します。ぜひ落語と百人一首の解説をお楽しみください。

第3回は5月26日(日)、第4回は6月23日(日)に開催予定。お問合せは社務所まで。



初回から大入り満員となった二荒山寄席。落語の後には寄席の踊りの披露も行われました。

## ごたいてん 御大典記念事業報告

この度の記念事業の内、拝殿の修理工事を行いました。明治10年(1877)に建てられた現在の社殿は、建築より140年以上を経過しており、床下や天井の補修と、木材の交換工事を行いました。今後は、本殿及び拝殿に取り付けられている鋸金具の鍍金と、擬宝珠の金箔等の修理工事を行う予定です。

## 伝統を守り育てる

## 「宇都宮二荒山神社神輿保存会」創立40周年



祭りには、なくてはならない「神輿」の伝統を守る

宇都宮二荒山神社神輿保存会は、今年で設立40周年を迎えました。二荒山氏子青年会、埴田睦会、バンパ通り商店街、宇都宮青年会議所、宇都宮市場神輿、宮壹会、うつのみやお祭りコミュニティーの計7団体が組織されています。現在の会長は3代目の関口和良さんです。

5月には市内のホテルで40周年記念式典を開催。11月には御大典を記念して奉祝記念渡御があります。おたりや神輿やバンパ太鼓神輿、須賀神輿が一堂に会して、天皇陛下の御即位を祝います。

「ふだんの年は冬渡祭、春渡祭、天王祭、菊水祭の年4回、神輿渡御の奉仕を行っています」と話す関口さん。「若い人もどんどん入って来てくれています。親子で参加する人も珍しくはありません」と笑顔を見せます。

伝統をしっかりと受け継ぎ守っている同会ですが、昨年から女性も奉仕に参加するなど、少しずつ変わりつつあります。

「時代に対応しながら、伝統の核はしっかりと守って、育てていきたいと思っています」(関口さん)



宇都宮二荒山神社神輿保存会  
関口和良会長



若い人の参加も増え、世代を超えた交流も生まれる

神社のホームページでは、お問い合わせの多い、ご祈祷やお焚き上げに関する情報をご確認いただけます。また年2回発行の社報のバックナンバーもご覧いただけますのでご利用ください。



宇都宮二荒山神社

検索

スマートフォンなどでも  
ご覧いただけます。